

科目名	家庭総合 2年	学年	2 学年	使用教材	【教科書】 『家庭総合 自立・共生・創造』 (東京書籍)
		必修 (工業科)			【副教材】
		単位数	2 単位		

学習目標 (被服・高齢者・家族関係分野)

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

学習評価の観点

○次の3観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。

①知識・技能	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
②思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
③主体的に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

○学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう

2年家庭総合（衣・家族・消費生活関係） 学習プログラム（年間学習計画）

学期	単元名	学習内容	評価の観点			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
1	家庭科の学び方	オリエンテーション	・科目の目標と学習方法および評価方法について理解している。			
		生活に生かそう				
	第1章 生涯を見通す	1 人生を展望する	・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。	・自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	・生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組む、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
		2 目標を持って生きる	・生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。			
	第2章 人生をつくる	1 人生をつくる	・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について、また青年期の課題である自立について理解を深めている。		・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
		2 家族・家庭を見つめる	・家族・家庭の機能と家族関係について理解している。 ・家族・家庭と法律について理解している。			・男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について、考察し表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
		3 これからの家庭生活と社会	・男女の平等と協力について理解を深めている。 ・家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。			・自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することの重要性について問題を見だし、考察し表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	2	第4章 超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・大衆長寿社会の到来	・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。		
			2 高齢期の心身の特徴	・高齢期の心身の特徴について理解を深めている。		
			3 高齢者の自立を支える	・高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深めている。		
4 これからの超高齢社会			・高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けている。			
第7章 衣生活をつくる		1 被服の役割を考える	・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解している。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
	2 被服を入手する	・自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。				

			・被服材料について科学的に理解している。		
		3 被服を管理する	・被服衛生について科学的に理解している。		
		4 被服を作る	・被服構成について科学的に理解している。		
		5 衣生活の文化と知恵	・日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めている。		
		6 これからの衣生活	・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見だし、課題を解決する力を身に付けている。	
3	第9章 経済生活を営む	1 情報の収集・比較と意思決定	”・消費生活の現状と課題について理解を深めている。		・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
		2 購入・支払いのルールと方法	・消費行動における意思決定について理解を深めている。		
		3 消費者の権利と責任	・生活情報の収集・整理が適切にできる。	・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、課題を見だし、実践を評価・改善したり、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
		4 生涯の経済生活を見通す	”・契約の重要性について理解を深めている。	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
		5 家計をマネジメントする	・消費者保護の仕組みについて理解を深めている。”		
		6 これからの経済生活	”・責任ある消費の重要性について理解を深めている。		

科目名	家庭総合	学年	3年(工業科)	使用教材	【教科書】家庭総合 東京書籍
		必修・選必・コース選			【副教材】
		単位数	2単位		
学習目標(食物・保育・住生活分野) 食生活、保育・住生活分野などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。					
学習方法 ○ 実践的・体験的な学習活動を通して、食生活、保育、住生活を科学的・総合的にとらえていく。 ○ 自分の生活から課題を見つけ、生活をよりよくするための工夫を考え、実践できるようにする。					
学習評価 ○ 次の4つ観点に基づき、学年末に5段階の評定に総括する。					
① 関心・意欲・態度		○ 食生活の科学と文化、保育、住生活に関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。			
② 思考・判断		○ 食生活の科学と文化、保育、住生活を見直し、生活課題を主体的に解決するために思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。			
③ 技能・表現		○ 食生活の科学と文化、保育、住生活などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。			
④ 知識・理解		○ 食生活の科学と文化、保育、住生活などに関する基礎的・基本的な知識を総合的に身に付けている。			

3年家庭総合(食・保育・住生活領域) 学習プログラム(年間学習計画)

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1学期	家庭総合を学習するにあたって 第6章(食領域) ①食生活の課題について考える (1)青年期の食生活の課題 (2)「食べる」とは (3)食生活の課題 (4)食生活の変化 ②食事と栄養・食品 (1)生涯の健康と食生活 (2)栄養と栄養素 (3)炭水化物 (4)脂質 (5)たん白質 (6)無機質 (7)ビタミン (8)その他の食品	・炭水化物、脂質、たんぱく質、無機質、ビタミンの栄養的特徴について理解する。 ・健康の維持・増進、からだの成長のために、自分や家族に必要な栄養所要量と食品群別摂取量のめやすについて理解する。 ・1～4群の具体的な食品の栄養的特徴を理解すると共に各食品の加工法・調理性を知り、適正な調理法を学ぶ。	・教科書、ワークシート、実験、実習を通して、栄養、食品、調理について学習する。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【考査】

2 学 期	<p>③食生活の安全と衛生</p> <p>(1) 食品の選択と保存</p> <p>(2) 食生活の衛生と安全</p> <p>④生涯の健康を見通した食事計画</p> <p>(1) 調理法と味のバランス</p> <p>(2) 食事の場面を考えた調理調理実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子丼 ・ミネステローネ ・麻婆豆腐 ・ハンバーグ ・ちんびん <p>⑤食生活と文化</p> <p>(1) 日本の食生活 (2) 世界の食生活</p> <p>⑥これからの食生活</p> <p>(1) 食料生産と食料問題</p> <p>(2) 食生活の安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・品質表示の理解、食品の保存方法、食品の衛生と管理について理解する。 ・食品の選択・計量・器具の扱い、及び調理の基本を習得する。 ・食事の配膳とマナーについて学ぶ。 ・卵の調理方法、出し汁の取り方について学ぶ ・中華料理の基本、寒天の使い方を学ぶ ・郷土料理を学ぶ ・食物の役割を認識し、自国、他国の食文化についての理解を深める。 ・日本型食生活の栄養バランスのよさを理解すると共に、郷土食についての理解・関心を深める。 ・現代の食生活に関わる問題点について考える。(不規則な食生活、適正な栄養摂取、食料自給率など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ワークシート、実験、実習を通して、栄養、食品、調理について学習する。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【考査】
	<p>○ 第2章 子どもと共に育つ</p> <p>1 命を育む</p> <p>(1) 人間の愛と性</p> <p>(2) 子どもの誕生</p> <p>2 子どもを育つ力を知る</p> <p>(1) 子どもの育つ力</p> <p>(2) 生まれつき持っている能力</p> <p>(3) 身体の発達 (4) 心の発達</p> <p>(5) 遊びの発達</p> <p>3 親として共に育つ</p>	<p>○母体の健康管理や子どもの心身の発達と特徴、子どもの生活と遊び、親の役割などを学習する。</p> <p>○教科書、ワークシート、を通して、子どもの発達、親の役割と保育、子どもの福祉について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ワークシート、実習を通して学習する。 【学習観察】 【考査】
3 学 期	<p>○ 第8章 住まう</p> <p>1 住生活について考える</p> <p>(1) 住居の機能と変化</p> <p>(2) 平面図を理解する</p> <p>(3) 住居の計画</p> <p>(4) 誰もが住みやすい住居</p> <p>2 住生活の計画と選択</p> <p>(1) 安全で快適な住生活</p> <p>(2) 健康な住生活</p> <p>(3) 住居の維持と管理</p>	<p>○住まいの発生について考える。</p> <p>○生活行為と生活時間から住まい方について考える。</p> <p>○各地の住まいの特徴を理解し、現代にいたるまでの住居や住まい方の特徴を理解する。</p> <p>○ライフスタイルにあった住まいの条件(暮らし方や好み)を考え、住まいの工夫・改善していく方法について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書、ワークシート、住居の機能、住生活の機能、住空間の計画、住環境の整備などについて学習する。 【学習観察】 【考査】【課題】

※年間を通して、コロナ感染予防対策に対応(手洗い、マスク着用など)した指導を行う。